

～ 唐津市短観 令和5年下半年調査結果 ～

- 現況は「悪い」（現況DI：▲14）、見通しは「悪くなる」（見通しDI：▲1）
- 現況DIについては前回よりマイナス幅が縮小、業種によっては回復の兆しが見えるものの、電力価格・物価の高騰により今後の景況感については厳しい見方が多数。

■調査概要

調査時期： 令和6年1月  
 調査方法： インターネットによる回答  
 調査内容： 前期と比較した今期（令和5年7～12月）の景況感および  
 今期と比較した次期（令和6年1～6月）の見通し  
 調査対象： 唐津市内の事業者から抽出した8業種300事業所  
 回答数： 214（回答率71.3%）  
 分析： 唐津市

■当期の結果概要




























現在の景況感は「良い」12.6%に対し、「悪い」が29.9%と上回り、現況DIは▲17ポイントとなりました。業種別に前回調査の現況と比較すると、農業、製造業、宿泊・観光業、旅客運送・運輸業でマイナス幅が拡大しており、特に旅客運送・運輸業は大幅に悪化しています。

6か月後の見通しについては「悪くなる」が23.4%、「変わらない」が66.8%と引き続き景況感は悪い状態が続くもしくはさらに悪くなる見通しとなっております。業種別で見ても、旅客運送・運輸業以外において見通しDIがマイナスとなっております。

天気マークと指標

				
特に好調 50≦DI	好調 25≦DI≦50	普通 0≦DI<25	不調 ▲25≦DI<0	極めて不調 DI<▲25

景況天気図

	全業種	農業	建設業	製造業	宿泊・観光業	卸売・小売業	飲食業	旅客運送・運輸業	その他のサービス業
前期 R5.1～R5.6	 ▲ 14	 ▲ 13	 ▲ 14	 ▲ 13	 67	 ▲ 73	 22	 100	 ▲ 60
今期 R5.7～R5.12	 ▲ 17	 ▲ 33	 ▲ 18	 ▲ 28	 42	 ▲ 23	 ▲ 3	 ▲ 17	 ▲ 30
来期見通し R6.1～R6.6	 ▲ 14	 ▲ 17	 ▲ 15	 ▲ 18	 ▲ 17	 ▲ 17	 ▲ 16	 33	 ▲ 11

## ■当期の結果詳細

	前年調査	前回調査		現在の景況感			現況	6か月後の見通し			見通し		
	現況 DI	現況 DI	見通し DI	回答数 (n=)	良い (%)	普通 (%)	悪い (%)	DI (%ポイント)	回答数 (n=)	良くなる (%)	変わらない (%)	悪くなる (%)	DI (%ポイント)
総合	▲ 28	▲ 14	▲ 1	214	12.6	57.5	29.9	▲ 17	214	9.8	66.8	23.4	▲ 14
①農業	▲ 78	▲ 13	▲ 14	6	16.7	33.3	50.0	▲ 33	6	16.7	50.0	33.3	▲ 17
②建設業	7	▲ 14	▲ 14	33	6.1	69.7	24.2	▲ 18	33	3.0	78.8	18.2	▲ 15
③製造業	▲ 23	▲ 13	0	39	5.1	61.5	33.3	▲ 28	39	10.3	61.5	28.2	▲ 18
④宿泊・観光業	0	67	67	12	41.7	58.3	0.0	42	12	8.3	66.7	25.0	▲ 17
⑤卸売・小売業	▲ 56	▲ 73	▲ 36	43	9.3	58.1	32.6	▲ 23	43	11.6	62.8	25.6	▲ 14
⑥飲食業	▲ 17	22	11	38	26.3	44.7	28.9	▲ 3	38	5.3	73.7	21.1	▲ 16
⑦旅客運送・運輸業	▲ 33	100	100	6	16.7	50.0	33.3	▲ 17	6	50.0	33.3	16.7	33
⑧その他のサービス業	▲ 20	▲ 60	20	37	5.4	59.5	35.1	▲ 30	37	10.8	67.6	21.6	▲ 11

## ■当期の主なコメント

現在の景況感	良い	・ コメントなし
	普通	・ 燃料高騰や物価高で経営を圧迫しているとはいうものの、その他営業努力で利益は確保出来ている。【製造業】
	悪い	・ 飲食店なので燃料高騰よりも更に物価高騰の方が利益率を悪くしていると思う。【飲食業】 ・ コロナとインフルエンザの蔓延と、それに伴う来店間隔の伸びが経営に影響を与えている。円安の長期化で物価が毎年上昇、仕事にも生活にも影響する。【その他のサービス業】
6か月後の見通し	良くなる	・ コメントなし
	変わらない	・ 建設業においても令和6年4月から働き方改革が本格実施されるが、うまく会社運営ができるかが心配である。依頼される工事案件はあっても、電材関係の調達に現在苦慮している。どのようになるかが不安材料である。【製造業】
	悪くなる	・ 想定を大きく上回り続くユーティリティコストの高騰が価格転嫁できる状況(市場や顧客)でなく、かなり難しい状況。価格上昇を促す施策(値上を受けることで得られるメリット)を享受しなければ、全てが共倒れとなりかねない。また、24年問題による物流の変化は唐津市の第一次産業にとってかなり重要な問題。【製造業】

### 唐津市短観（唐津市短期経済観測調査）とは？

各企業からの調査結果である「良い」「普通」「悪い」の3通りで回答したものを集計して、DI\*で表したもの。DIは「良い」という回答の比率から「悪い」という回答の比率を引いて指数化するため、全調査企業が「良い」と回答すれば100、全ての企業が「悪い」と判断すれば▲100となり、ゼロが景気の拡大縮小の分かれ目の目安となる。

※DI (Diffusion Index) : 企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の短観(全国企業短期経済観測調査)などで用いられている。